

—牧師室より—

シナイ半島とイスラエル旅行の
新約(後)編を記す。

19日(日) 主イエスの初期
の伝道地・緑したたるガリラヤ湖
畔の町々を巡る。主イエスへの思
いを篤くし感懐の主の日の青空礼
拝を捧ぐ。イスラエルとシリアの
緊張した国境のゴラン高原から雪
をいただいたヘルモン山を望む。
ベトロがキリスト告白したフィリ
ポ・カイザリヤは泉が湧き出、ガ
リラヤ湖の水源地になっている。
イスラエルが死守したい所。

20日(月) 主イエスの育った
ナザレの受胎告知教会を訪ねる。
南ユダのヨシア王が戦死したメギ
ドの丘(ハルマゲドン)。預言者
エリヤがバールの祭司と闘ったカ
ルメル山。ローマの総督の官邸が
あった地中海に面する美しいカイ
ザリヤの遺跡、この地からパウロ
はローマに護送された。

21日(火) エルサレムの夜
明も素晴らしい。受苦日の朝、主
イエスは最高法院の裁判を受なが
らどんな思いでこの朝日を見ただ
ろうか。オリーブ山のゲッセマネ

から神殿を望む。ユダヤ教徒の「
嘆きの壁」に向かったの祈りの熱
烈さに驚く。イスラム教の黄金の
ドームの華麗さに驚く。主イエス
が十字架を負って歩まれたピア・
ドロロサの雑踏に驚く。三大宗教
がしのぎを削って立ち並んでい
る。イスラエルとアラブの和平の
並大抵でないのを実感する。午後
主イエスの降誕地・ベツレヘムに
行く。念願のパレスチナ人教会を
訪ねた。手配してくれた車でアラ
ブ地区に入ったが、独特な雰囲気
で気性激しく、生活は貧しいよう
だ。教会のラヘブ牧師とは短い時
間しか話せず残念だったが、知性
あふれる国際人であった。来日
の際はぜひ説教にお招きしたい。

22日(水) 羊飼いの少年・
ダビデがベリシテの巨人ゴリアテ
を倒したエラの谷。紀元前8世紀
アッシリアに滅ぼされたラキシの
遺跡を「立ち入り禁止、落石危険」
の立て札の中、見て回った。死
海写本の展示してあるイスラエル
博物館。エッセネ派の人々の信仰
に圧倒される。エルサレム旧市街
地を復元したという模型を見た。

週 報

1995年12月3日 待降節第1主日

アドベント(待降節)に入る

巻16 36号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分であ
る。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と
言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒234 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉 隆雄